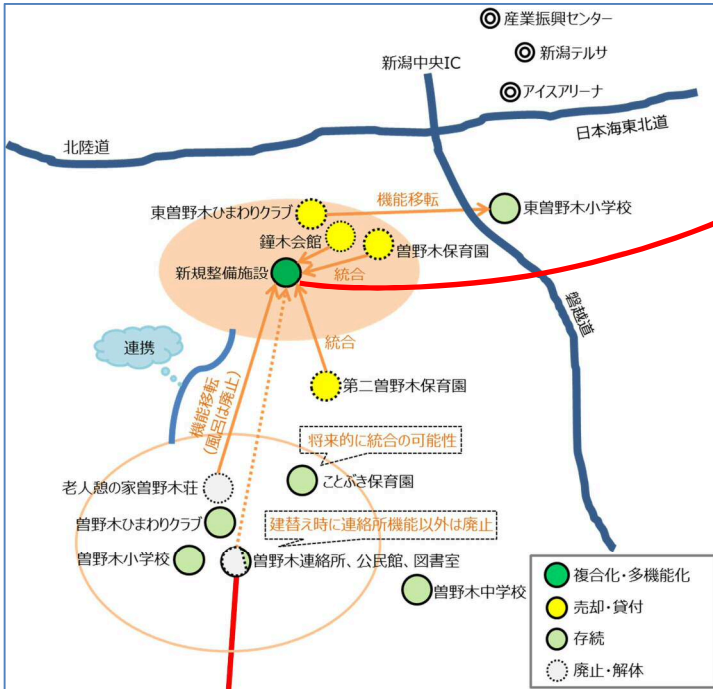


A

新たな拠点を整備し、地域の中心をつくる案



市営住宅跡地に複合化される機能

- ・ 曾野木+第二曾野木保育園（統合）
- ・ 地区公民館+図書室（将来的に移転）
- ・ コミ協事務室（新規整備）
- ・ 交流スペース（新規整備）

老朽化した保育園を統合し、新しく整備
→ 十分な駐車場の確保が可能に

こどもの居場所や学習スペースを確保
→ 放課後見守りや学習支援などが可能に



交流スペースを確保
→ 多世代交流が生まれる



例：地域の茶の間「しののめ」
（亀田東小学校区コミ協／江南区）

公民館の機能が移転
→ 活動場所が変わる



図書室の機能
→ 将来的に移転



現在の公民館周辺に存続する機能

- ・ 連絡所

※当面の間は現状のまま、建替え時に公民館と図書室の機能を移転



連携（区バスなど）

案の特徴

【特徴（長所）】

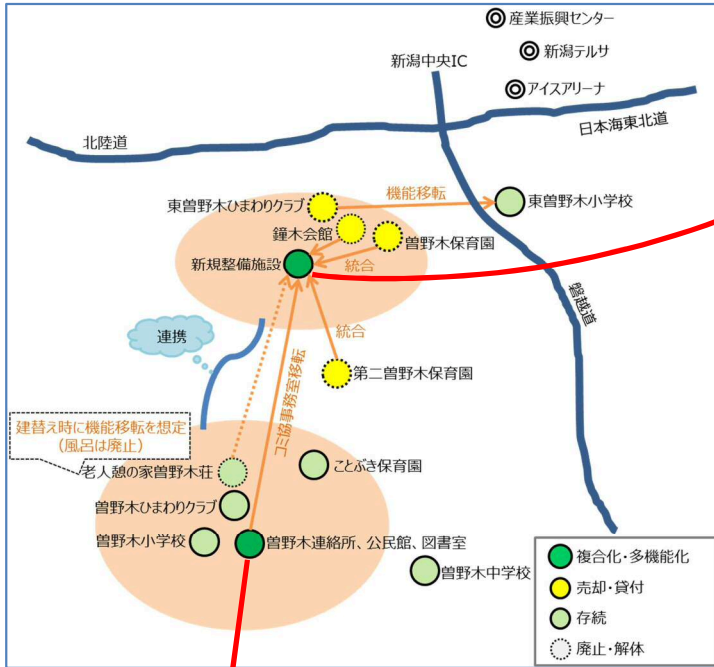
- ・ 面積が確保できる市営住宅跡地を有効活用して、新たな地域（中学校区）全体の拠点が整備される。駐車場も確保できる。
- ・ コミュニティ拠点、保育園、老人憩の家の機能などが複合化され、多世代交流が期待できる。
- ・ 新規複合施設として地域外から人を呼び込める可能性がある。

【課題】

- ・ 市営住宅跡地の新施設の規模が大きいいため、整備費用が高くなる。
- ・ 従来の拠点から、公民館・図書室・老人憩の家の機能が移転するため、活動場所が変わる。

※これらの案は、比較検討のためのものであり、実現を担保するものではありません。

B 二拠点整備案（機能を住み分け）



市営住宅跡地に複合化される機能

- ・曾野木+第二曾野木保育園（統合）
- ・コミ協事務室+活動スペース（新規整備）
- ・交流スペース（新規整備）

老朽化した保育園を統合し、新しく整備
→ 十分な駐車場の確保が可能に

こどもの居場所や学習スペースを確保
→ 放課後見守りや学習支援などが可能に



交流スペースを確保
→ 多世代交流が生まれる



例：地域の茶の間「しののめ」
（亀田東小学校区コミ協／江南区）

現在の公民館周辺に存続する機能

- ・地区公民館+図書室
- ・連絡所



コミ協事務室をこどもの居場所に転用できる



公民館・図書室が存続し、これまでどおり活動できる

連携（区バスなど）

案の特徴

【特徴（長所）】

- ・面積が確保できる市営住宅跡地を有効活用して、コミュニティ活動の拠点と統合保育園が整備される。駐車場も確保できる。
- ・コミュニティ拠点、保育園、老人憩の家の機能などが複合化され、多世代交流が期待できる。
- ・現在の公民館の一部をこどもの居場所に転用できる。
- ・活動拠点が分散するため、身近にある施設を選択して利用できる。

【課題】

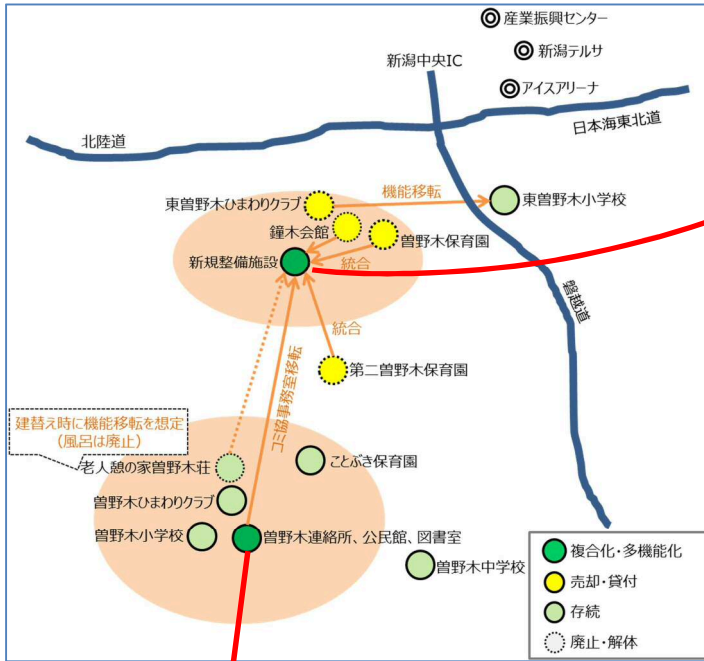
- ・活動拠点が分散するため、地域の一体化が図られない可能性がある。→相互連携により解消

新たに作成した案

※これらの案は、比較検討のためのものであり、実現を担保するものではありません。

地域の公共施設のこれからを考えるワークショップ

A+B 二拠点整備案 (機能が一部重複)



市営住宅跡地に複合化される機能

- ・曾野木+第二曾野木保育園 (統合)
- ・コミ協事務室+活動スペース (新規整備)
- ・交流スペース (新規整備)
- ・貸館スペース (新規整備)



老朽化した保育園を統合し、新しく整備
→ 十分な駐車場の確保が可能に

こどもの居場所や学習スペースを確保
→ 放課後見守りや学習支援などが可能に

交流スペースを確保
→ 多世代交流が生まれる



公民館と同じような活動が可能に

現在の公民館周辺に存続する機能

- ・地区公民館+図書室
- ・連絡所



コミ協事務室をこどもの居場所に転用できる



公民館・図書室が存続し、これまでどおり活動できる

案の特徴

【特徴 (長所)】

- ・面積が確保できる市営住宅跡地を有効活用して、コミュニティ活動の拠点と統合保育園が整備される。駐車場も確保できる。
- ・コミュニティ拠点、保育園、老人憩の家の機能などが複合化され、多世代交流が期待できる。
- ・現在の公民館の一部をこどもの居場所に転用できる。
- ・活動拠点が分散するため、身近にある施設を選択して利用でき、公民館と同じような活動ができる。

【課題】

- ・市営住宅跡地の新施設の規模が大きいため、整備費用が高くなる。
- ・公共施設の総量が増加するため、維持費用が高くなる。
- ・活動拠点が分散するため、地域の一体化が図られない可能性がある。
- ・機能が重複するため、施設の利用率が低下する可能性がある。

※これらの案は、比較検討のためのものであり、実現を担保するものではありません。

C 従来の拠点を活かす案



市営住宅跡地に複合化される機能

- ・鐘木会館（移転）
- ・コミ協事務室（新規整備）

曾野木・第二曾野木保育園を統合し、第二曾野木保育園敷地に整備

現在の公民館周辺に存続する機能

- ・地区公民館＋図書室
- ・連絡所



コミ協事務室をこどもの居場所に転用できる



公民館・図書室が存続し、これまでどおり活動できる

案の特徴

【特徴（長所）】

- ・面積が確保できる市営住宅跡地を有効活用して、コミュニティ機能が整備される。
- ・現在の公民館の一部を子どもの居場所に転用できる。
- ・現在の各施設の機能がほぼ維持され、これまでどおり活動できる。
- ・市営住宅跡地の新施設の規模が小さいため、整備費用が低くなる

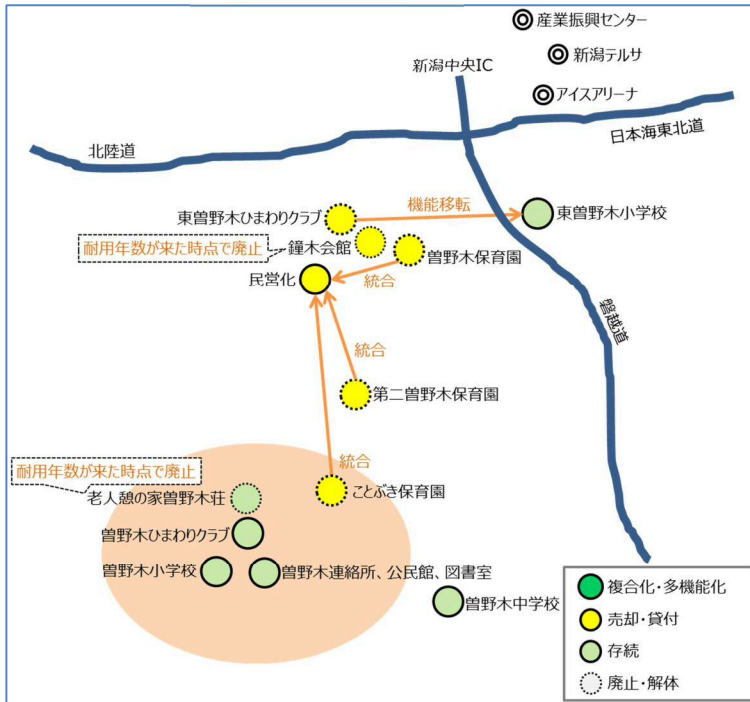
【課題】

- ・コミュニティ拠点、保育園、老人憩の家などが別施設のため、多世代交流が期待できない。
- ・保育園や公民館の駐車場不足が改善されない可能性がある。

※これらの案は、比較検討のためのものであり、実現を担保するものではありません。

地域の公共施設のこれからを考えるワークショップ

D 財政的効率化案



案の特徴

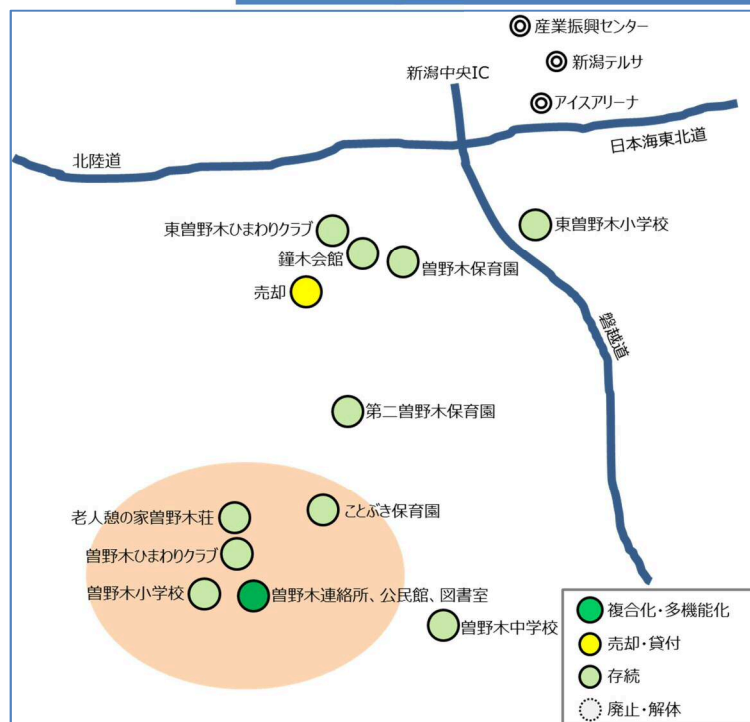
【特徴（長所）】

- 面積が確保できる市営住宅跡地を有効活用して、統合保育園が整備される。駐車場も十分確保できる。
- 新規施設整備に民間活力を導入することで、整備および運営費用の削減が期待できる。

【課題】

- コミュニティ拠点、保育園、老人憩の家などが別施設のため、多世代交流が期待できない。
- 老人憩の家や鍾木会館が将来的に廃止となるため、活動が衰退する懸念。
- 課題解決の狙いが達成できない。

E 現状維持案



案の特徴

【特徴（長所）】

- 現在の各施設の機能が維持され、これまでどおり活動できる。
- 面積が大きい市営住宅跡地を売却することで、財源確保が期待できる。また、宅地整備などにより、人口増加の可能性もある。






【課題】

- 老朽化した保育園の現地建替えが困難。
- 保育園や公民館の駐車場不足が改善されない。
- 課題解決の狙いが達成できない。

施設再編実施後の、公民館と新規施設の機能

地域の公共施設のこれからを考えるワークショップ

- A案は、現在の公民館の機能を新規施設に移転する形となります。
- B案は、現在の公民館の機能を活かしつつ、新規施設をつくる形となります。
- A+B案は、B案の新規施設の機能に加え、現在の公民館の機能も新規施設に付加する形となります。
- C案は、現在の公民館はそのまま維持し、新規施設に最小限の機能を整備する形となります。

機能	A案		B案		A+B案		C案	
	公民館	新規施設	公民館	新規施設	公民館	新規施設	公民館	新規施設
公民館 	×	○	○	×	○	○	○	×
図書室 	×	○	○	×	○	×	○	×
多世代交流 スペース 	—	○	—	○	—	○	—	×
子どもの居場所 	×	○	○	○	○	○	○	×
コミ協事務室	×	○	×	○	×	○	×	○
保育園 	—	○	—	○	—	○	—	×
鐘木会館	—	○	—	○	—	○	—	○
連絡所	○	×	○	×	○	×	○	×

※「—」は現在の公民館にない機能

■評価（案）の修正

・“課題解決の狙い”の視点に基づき、各案を比較・検証しました。

✓ 評価軸や評価の内容について、追加や修正をすべき点がありますか？

新たに追加

【判定の基準】◎：現状と比較し向上が見込まれる ○：現状維持もしくは一長一短 △：現状より低下

課題解決の狙い	評価軸	A案	B案	A+B案	C案	D案	E案
①過度な財政負担が将来世代に残らない	●コストをどのくらい削減できるか (E案との比較) ※今後50年間のコスト比較	【判定：△】 +5億4千万円 (統合保育園を公設民営とした場合) 【判定：◎】 ▲1億円	【判定：△】 +2億8千万円 (統合保育園を公設民営とした場合) 【判定：◎】 ▲3億6千万円	【判定：△】 +15億2千万円 (統合保育園を公設民営とした場合) 【判定：△】 +8億8千万円	【判定：◎】 ▲3億6千万円 (統合保育園を公設民営とした場合) 【判定：◎】 ▲10億円	【判定：◎】 ▲31億1千万円 (保育園は民設民営)	
②地域のまとまり一体感を醸成する。	●中学校区全体での拠点施設が整備されるか	【判定：◎】 ・市営住宅跡地に新たな拠点が整備されるため、一体感の醸成が期待。	【判定：◎】 ・公民館周辺と市営住宅跡地の2か所に拠点が整備される。相互の連携を強化することで、一体感の醸成が期待。	【判定：◎】 ・公民館周辺と市営住宅跡地の2か所に拠点が整備される。活動拠点が分散するため、地域の一体化が図られない可能性がある。	【判定：◎】 ・施設配置が大きく変わらず、現状と変わらない。	【判定：◎】 ・施設配置が大きく変わらず、現状と変わらない。	
③子育てしやすいまちをつくる	●新たな子育て支援機能は何か ●現状より良くなることは何か ●保育園以外で親子が集える場が確保されるか ●保育園に駐車場が確保されるか	【判定：◎】 ・統合保育園が市営住宅跡地に新しく整備され、十分な駐車場も確保される。 ・統合保育園が新施設に複合化され、保育園に通う子どもをはじめ、通っていない親子なども集え、多世代交流が期待。 ・ことぶき保育園は、駐車場の問題など現状の課題がそのまま残る。(公園の駐車場を利用することで解消)	【判定：◎】 ・統合保育園が市営住宅跡地に新しく整備され、十分な駐車場も確保される。 ・統合保育園が新施設に複合化され、保育園に通う子どもをはじめ、通っていない親子なども集え、多世代交流が期待。 ・現在の公民館の一部を転用し、子どもの居場所が設けられる。 ・ことぶき保育園は、駐車場の問題など現状の課題がそのまま残る。(公園の駐車場を利用することで解消)	【判定：◎】 ・統合保育園が市営住宅跡地に新しく整備され、十分な駐車場も確保される。 ・統合保育園が新施設に複合化され、保育園に通う子どもをはじめ、通っていない親子なども集え、多世代交流が期待。 ・現在の公民館の一部を転用し、子どもの居場所が設けられる。 ・ことぶき保育園は、駐車場の問題など現状の課題がそのまま残る。(公園の駐車場を利用することで解消)	【判定：◎】 ・現在の公民館の一部を転用し、子どもの居場所が設けられる。 ・統合保育園は、駐車場の問題など現状の課題がそのまま残る。(公園の駐車場を利用することで解消)	【判定：△】 ・統合保育園が市営住宅跡地に新しく整備され、駐車場も確保される。 ・規模の縮小などサービス機能が低下する懸念。 ・施設整備・運営を担う民間事業者を探す必要がある。	
④若者・高齢者・障がい者の居場所をつくる	●若者・高齢者・障がい者の居場所はどこか ●現状より良くなることは何か ●小学校区毎に子どもの居場所が確保されるか	【判定：◎】 ・新たな拠点(市営住宅跡地)に、若者・高齢者・障がい者も含め気軽に集える機能を設けることで、多世代交流が期待。 ・老人憩いの家の機能が移転する。また、将来的に公民館の機能も移転するため、活動場所が変わる。 ・新たな拠点(東菅野木小区)に子どもの居場所が確保される。	【判定：◎】 ・新たな拠点(市営住宅跡地)に、若者・高齢者・障がい者も含め気軽に集える機能を設けることで、多世代交流が期待。 ・従来の拠点(公民館)が存続するため、これまでどおり活動できる。 ・将来的に老人憩いの家の機能が移転するため、活動場所が変わる。 ・現在の公民館(菅野木小区)と新たな拠点(東菅野木小区)の両方に子どもの居場所が確保される。	【判定：◎】 ・新たな拠点(市営住宅跡地)に、若者・高齢者・障がい者も含め気軽に集える機能を設けることで、多世代交流が期待。 ・従来の拠点(公民館)が存続するため、これまでどおり活動できる。 ・将来的に老人憩いの家の機能が移転するため、活動場所が変わる。 ・現在の公民館(菅野木小区)と新たな拠点(東菅野木小区)の両方に子どもの居場所が確保される。	【判定：◎】 ・施設配置が大きく変わらず、現状と変わらない。 ・老人憩いの家が将来的に廃止となるため、活動が衰退する懸念。 ・新施設が新たな居場所となる可能性がある。	【判定：△】 ・施設配置が大きく変わらず、現状と変わらない。 ・老人憩いの家が将来的に廃止となるため、活動が衰退する懸念。	
⑤地域住民が集え地域外からも人を呼び込める施設をつくる	●地域の活動が活性化するか ●人が集まるスペースや施設が確保されるか ●地域外の人を呼び込める場所が確保されるか ●民間テナントの入居可能性はあるか	【判定：◎】 ・市営住宅跡地に新たな拠点が整備され、地域全体のイベントや、地域外から人を呼び込むイベントなどが開催しやすくなる。 ・新たな拠点にテナントスペースを整備できる可能性がある。	【判定：◎】 ・公民館周辺と市営住宅跡地の2か所に拠点が分散するため、身近にある施設を選択して利用できる。 ・2つの拠点の連携を強化することで、利用しやすくなる。 ・新たな拠点にテナントスペースを整備できる可能性がある。	【判定：◎】 ・公民館周辺と市営住宅跡地の2か所に拠点が分散するため、身近にある施設を選択して利用できる。 ・機能が重複するため、施設の利用率が低下する可能性がある。 ・新たな拠点にテナントスペースを整備できる可能性がある。	【判定：◎】 ・施設配置が大きく変わらないが、市営住宅跡地に新たな集会所が整備されるため、身近にある施設を選択して利用できる。	【判定：△】 ・施設配置が大きく変わらず、現状と変わらない。 ・鐘木会館が将来的に廃止となるため、活動が衰退する懸念。	
⑥アクセスしやすい公共施設配置とする	●徒歩、車、バスなどで公共施設へ行きやすいか ●アクセス上の安全性はどうか	【判定：◎】 ・新たな拠点に駐車場が確保される。また、敷地の広さを活用し、バスの乗り入れができる可能性がある。 ・公民館周辺からの距離が遠くなる。	【判定：◎】 ・新たな拠点に駐車場が確保される。また、敷地の広さを活用し、バスの乗り入れができる可能性がある。	【判定：◎】 ・新たな拠点に駐車場が確保される。また、敷地の広さを活用し、バスの乗り入れができる可能性がある。	【判定：△】 ・施設配置が大きく変わらず、現状と変わらない。 ・保育園の駐車場の問題がそのまま残る。	【判定：◎】 ・施設配置が大きく変わらず、現状と変わらない。	
⑦地域に必要な避難所機能を維持する	●必要な避難所機能(防災拠点)が確保されるか	【判定：◎】 ・現在の避難所(小中学校)は継続。 ・新たな拠点が、地域の協力を得て一時避難所などにできる可能性。	【判定：◎】 ・現在の避難所(小中学校)は継続。 ・新たな拠点が、地域の協力を得て一時避難所などにできる可能性。	【判定：◎】 ・現在の避難所(小中学校)は継続。 ・新たな拠点が、地域の協力を得て一時避難所などにできる可能性。	【判定：◎】 ・現在の避難所(小中学校)は継続。	【判定：◎】 ・現在の避難所(小中学校)は継続。	

現状(比較の基準)

新たに追加